

玉翠会会長 綾 田 整 治

なおり、同窓会館内に生徒とのつながりをより深くするために委員会事務局を建設したのはこの提案も委員も賛同が得られ、活用することができると同窓生も在校生も喜んでいただけたと自負しております。

また、同窓会館の設置費も当然ですが、これは新組織を作る、そのためには新組織の体制にすそめていただくという方法も考えなくては存じおります。さらに同窓会館を必要とするような方法で県国庫へ寄付する必要があるといういろいろな問題が湧きあがります。今後研究の必要があります。

すこ、私達、同窓会館は全学をあげて同窓生の願いを実現させるべく鋭意努力して参る所存でございます。どうぞ今後とも皆さな方の絶大なご支援をお願いいたします。

新理事に永井啓氏

玉翠会役員決まる

昭和61・62年度

(第7号)

高松市番町 高松高等学校
高松高等学校玉翠会
発行責任者 綾田 整治
印刷所 (有)アラモード印刷

昭和59年度玉翠会会費収支決算書
(昭和59年4月1日～昭和60年3月31日)
収入の部

支出の部		
支部総会	お祝い	298,780
支部総会	旅費	786,880
慶弔	費	253,480
	議	107,958
学 校	補助	600,000
玉翠会	職員給	800,000
卒業生	記念品	121,600
郵便	送料	59,510
転写職	記念品	223,500
名簿	メンテナンス料	100,000
雑	費	8,980
合 計		3,360,688
次年度へ繰越		15,408,545

綾田会長

岡野副会：

太田副会士

新体育館の建築

学校長 田中清春

としてに改築を断念も完了しました。

2、昭和五十九年度分として
高等学校施設整備調査研究事業として

調査費 三〇〇万円が認められ
昭和五十九年五月 県教育委員
内に 高校施設整備調査研究課
プロジェクトチームを設け、検討
を重ねられました。これにより
して、メディアセンター、並行
に 併開課題、同窓会としての
検討課題等、学校としての検討
課題を全教職員で研究しこれに
対応しました。

3、昭和六十年度分として
高校校施設整備事業
体育館施設整備
実施設計等委託料として
一〇〇〇万円が認められ、これ
によって、昭和六十年十月
一二日から二日間にわたり運
動の二三日所がバードリヤま
るの地帯調査ができたのでありま
す。

高等學校及び高等専門学校年度別として
昭和六十一年度分として

(1) 高等学校校舎整備事業
一、四五一平方メートル D

(2) 農業経営高校の寮の改修
と合わせての予算が
三億七二万九千円
昭和六十一年度の県議会に申
案された議決されました。
これによって、高松工業高校
みの高松校校体育館（武道場）
が、昭和四十一年度中に建築
始、六十一年度中に完成され
て、ようやくたてられました。

二、新体育館の持つ意味
旧高松中地区に堂々たる新しい
松工業高校の見事な体育館が竣
工しました。非常に喜ばしいこ
とです。

その土曜体育館の雄根の形が
西本願寺の屋根にもよく似てい
る。或は、本校と工業との位
関係が東西の位置にあるため
か、また、あまのにもスライズに立寄

(二)面に続く。

待たなければならぬのである。その願いかなわれば、いつと昭和十一年の一月一四日議決に、高高校館の新築が提議され議論されるまでになつてしまふことは、

第三には、第一体育館の老朽化の問題が随に進捗、その修めひきどらうに、全宇を二分して始業終業式等行事を行なつて始業式は新築として一面積増設陸上場及び教育低下の解消、ならびにB9の高松市外の時の燃焼弾の撃ち放たれた跡がそのまま残つてゐる本日に於て危険を感じて、第二体育館から、さきやうにと云ふこと。

第四には、この度の体育館創建予定地の現在、この本校地内であるといふことが現存することとは当時問題になってゐた、現在地が高松完全改定が行われるといふことが決定できたと理解できること、その意義は極めて大きい。

に体育館が完成できたのを、お
いしてか、誰言うとはなしに、エ
芸高校の体育館のことを西本願
と言うようになった。それと同時
に、本校（東本願寺）は、いつた
いいつ頃か建築してもらえる
ぞうか。本校関係者は、寺ら

議 校補 翠會職 卒業生 郵送 転退職 名簿 雜	給品 記念品 記念品 メインテナ
合	
次年度へ繰	

費	233,480
助	107,958
与	600,000
料	800,000
料	121,600
料	59,510
料	223,500
ス料	100,000
費	8,980
計	3,360,688
感	15,408,545



今沢副会長



太田副会長

おいしいものを
おいしくたべよう



質の黒ラヘ

ビル



本

社 大阪市

東区南本町

丁4 丁目47

番地

品質の黒ラベル

おいしいものを
おいしくたべよう

ニッポン人

本社 大阪市東区南本町4丁目47番地

福引大会に一喜一憂

第三回東京玉翠会



人・人・人のクリスタルパレス

昭和60年6月15日(土)
午後5時17分30分
於 赤坂プリンスホテル
クリスタルパレス
初夏の陽がさんさんと輝く六月
クリスタルパレスの間に、約六百
五十名の参加者を集めて、第三回
東京玉翠会が盛大に開催された。

幹事団は滝澤一氏を代表とする
東京山陽会(昭和36年卒)司会中
村俊輔氏で会を進められた。
平井健吉会長のご挨拶があり、
九十名以上の輝かしい歴史をもつ
母校の仲間が、こうして盛大な会
を開けることの喜びと、益々の発
展を願われ、今日一日の歓談を折
り込んだ。

松野隆明先生の乾杯の音頭で懇
親の幕が開かれ、広い会場をこ
ころ快しと歓談の輪が広がった。
アトラクションの福引大会に一
喜一憂し、例年の図書購入資金贈
呈に大拍手がわき、幹事団は後部
のエリアに大移動がおこなった。
最後に懐かしい校歌を高らかに斉
唱して、盛のうちに幕を閉じた。

着物に関する哲学的講義も

京阪神晩翠会総会

昭和60年5月26日(日)
午前11時15分午後3時
於 阪神百貨店七階クリン
ルーム
百花ひらく陽春の日、例年のよ
うに筑前様のお世話で京阪神晩翠
会を開きました。
今年も心のふれ合いのときを
たっぷりエンジョイしました。
百人に余る参加者、その企画も

皆様のおかげでバラエティに富み
なかつた。板津様(着物教室院長
の着物に関する素晴らしい講義
義し早着付(五分)の実演等が勉
強になり喜んでいただきました。
又、アマチュアの社長(ライオン
会)の方々のマジックショーの熱
演に、ご来賓の校長先生のご参加
をいただき、一喜一憂、会場のお
しゃべりも一時静かになるほどで

私共が青春を送っていたい
た母校が、相も変わらず古里に健在
にして、全国的に優秀校として語
られ、かけがえのない遺産として
本心にうれしく存じます。
最後に母校の益々の隆盛を心よ
りお祈りいたします。
昭和60年卒
曾川 登茂子



晩翠会40周年同窓会 於大鳴門橋記念館

同窓会この一年

- 第14回同窓会総会
期日 昭和60・5・25
場所 赤坂プリンスホテル
参加 六五〇名
- 晩翠会京阪支部総会
期日 昭和60・5・26
場所 阪神百貨店
参加 百余名
- 昭和十年卒晩翠会
期日 昭和60・5
場所 志摩半島温泉
参加 48名
- 東京玉翠会
期日 昭和60・6・15
場所 赤坂プリンスホテル
参加 六五〇名
- 高松40会(昭和40卒)
期日 昭和60・8・17
参加 百余名
- 二八会京阪支部(昭和28年卒)
期日 昭和60・8・22
場所 梅田レストランパレス
参加 19名
- 岡山玉翠会
期日 昭和60・10・19
場所 岡山プラザホテル
- 玉翠会京阪支部総会
期日 昭和60・11・16
場所 梅田中国大飯店
- 東京高高三会(昭和33年卒)
期日 昭和60・12・14・忘年会
場所 品川プリンスホテル
- 山陽同窓会(昭和36年卒)
期日 昭和61・1・4
場所 二軒
- 参加 48名
- 昭和20年卒晩翠会
期日 昭和61・3・1
参加 44名
- 昭和20年卒晩翠会
場所 淡路島梅丸旅館
参加 68名

名園を眼下に歓談

第七回岡山玉翠会



そこそこに讃岐弁の論ができて……

はじめて五人の先生方、本部からは
岡野・太田・今副会長の三席
をいただきました。その他、十五
名の方が遠くから参加してい
ただきました。当番幹事として春
頃から準備はしていたのですが、
在任者数が少なく、毎年積極的
に進めて下さる先輩幹事にオン
ブダツコ形になってしまし
申し訳なく思っております。
岡山県内には、百八十名の会
員がおられるのですが、若い世代
の方々は関心が薄いため、各種
のアナウンスを送りしつゝ返信
がなく、準備を進めるのに頭痛
めしました。(子育て、転勤などが
重なり大変なんだろうなと思っ
てみたりします)
幹事として一番の課題は当日
出席者の人数把握です。出席のご
返事をいただきながら当日欠席の方
間違いなく出席のほうはそれぞ
れご返事の遅い方、本当にヤキモ
キ致します。この問題をクリアー
すれば、後はベテランの方々にお
任せすれば万事ソツク取計
つて下さるから、幹事としては大
船に乗った気分です。
会場は天下の名園、後楽園を一
眸で見るので、初めてのの方は
特に印象的なようでした。旧知の
方と遠慮なく讃岐弁で話し合える
ことも、会を一層なややかなる
にしていたと思います。会員には
岡大医学部のOBが多いですが、
あちこちで健康相談所が開設さ
れていました。この会の特徴でし
ようか。
カラオケ大会も定着した感があ
りますが、広島より出席された
石野先輩(NHKアナウンサー)
は一味違って好評でした。太田副
会長の美声もこの会には恒例の
ものとなつたようです。
終つてしまふそれだけのこと
ですが、会が開かれるまでの緊張
感、不安感、高松から来て下さ
った同級生の友情に対する感激と
色々なことを体験させてくれた半
年間でした。

昭和33年卒
植村 登

夢のアルバムを手にして

昭和二十年卒同窓会

新しく作成した卒業アルバムと
四十年同窓会記念写真を眺めて
いると戦時中に暮れた私達の学
生時代の数々の思い出が浮かん
できます。全員が一同に集つた最後
の日をそれは卒業式でした。
四十年前の三月、それまで工場
(倉庫)で勤務していた私達
二百余名は幸いにも母校の講堂で
卒業式を行うことができました。
卒業の喜び、感激も更の間再び工
場へ帰りました。それから三月
後、昭和二十年七月四日未明、高
松は空襲を受け、一瞬にして灰燼
に帰りました。なつかしい建物や
街並みが崩れ、燃えさかり、暗闇
の中を逃げまどいだしました。B29の
爆音、炸裂する焼夷弾の音、泣き
の心と心の結びつきを育てたもの
なです。
私は殆ど四十年間学校から遠ざ
かっていたので、昨年から代議員
を依頼され、それを受けて四十年
同窓会とアルバム作りの手配
いをするにしました。
さて、待ちに待った四十年振り
の再会がはじけように行われました。
場所は鳴門大橋完成記念式、
淡路島、梅丸旅館、出席者は六十
八名、幹事の奈良様河田様入倉様
達の綿密な計画と御配慮を載
て、この会場でさながら花を
咲かせたのは卒業アルバム(私達
は卒業アルバムが作られていなかつ
た)を新しく手にしたことです。
アルバムを作成することはこの四
十年という長い年月の間級友達が
皆一人一人の心に抱いていた夢で
した。戦争、空襲、敗戦で一瞬に
してちりちりになった級友達が昔
を懐かしみ、一つの輪、一つの輪と
結びあつて、手紙を交し、少数
ずつ寄り集つて大切な写真を持ち
寄り、又遠方から届けられて、住
所、氏名等を確認し合つてこの日
を迎えることが出来たのです。私
達はあの卒業式の日の感激にも似
た気持ちを再び味わえたのです。佐
々木様岡田様河田様他アルバム作
成委員の方、写真を貸して下さつ
た方々に心から感謝します。
四十年振りの再会、はじめての再
会を眺めて昔に振り返り、今はもう燃ら
ぬを思ひ、欠席された方々や消息
の分りぬ方を案じながらも、今を
生きることを喜び合ひ、観劇船の
のうす潮見物、阿波の人形浄瑠璃
見学等、まるで修学旅行に似た
気持ちでした。鳴門わかめと大谷
焼とアルバムを手みやげに再会を
約束してそれぞれの家庭に帰しま
した。今回出席できなかった方々
も次回には是非とも御参加さ
る様紙面をかりてお願いし報告を
終わります。
昭和二十年卒 秋山記

情・報・イ・キ・イ・キ

RNC TV

RNC Radio

西日本放送株式会社

高松本社 〒760-91 高松市丸の内8番15号 ☎(0878)39-3939
岡山本社 〒700 岡山市野田3丁目2番5号 ☎(0862)44-0111

社長 太田英章

玉翠会費納入状況

山下佐明、岩瀬敬治、三好光春、齋藤則雄、椎名博、泉川孝平、井上寛、岩崎英二、岩部隆、上野俊夫、大石刀一、太田

八 西岡フニ、広田美智、松原スミ子、井上久子、小佐々勝子、
野壽子、岡美代、和田綾子、宮崎とみ子、平井文代

中田文子 内田英栄 田村千代子 光宗道子 十河美代子
喜来文子、真鍋聰子、永崎光子、尾形カズエ、赤松千代子、

三三 星山梨子 中峰君一郎 裕島克行 佐藤弘子
三四 岩田博充 安藤知子 小林摩耶 齋藤雅美 高田昌彦 河

行

1